

クレジットカードで資産運用

- クレカ積み立ては2018年からスタート！
- 8月にtsumiki証券（エポスカード）が、10月に楽天証券（楽天カード）で開始
- 2020年以降はSBI証券（三井住友カードや東急カード、高島屋カード）、マネックス証券（マネックスカード）、auカブコム証券（au Payカード）、セゾンポケットでそれぞれ開始され、オリコカードもSBI証券での積み立てが今後可能になる予定
- 上限は5万円

クレジットカードで資産運用

年	カード種類	金融商品取引業者
2018年	エポスカード	tsumiki証券
	楽天カード	楽天証券
2019年	セゾンカード/ UCカード	セゾンポケット
2020年	高島屋カード	SBI証券
2021年	三井住友カード	SBI証券
2022年	マネックスカード	マネックス証券
	au Pay カード	auカブコム証券
	TOKYU CARD	SBI証券
未定	オリコカード	SBI証券

出所: 2022年5月20日現在、GFS調べ

クレカ積み立ての メリットとデメリット

- 強制的に積立投資ができるので、継続的に投資が可能となる(○)
- クレジットカードの種類や各カード会社の条件に応じて投資額に対してポイントが還元される(0.1~5.0%) (○)
- ポイント投資もできる場合がある(○)
- 積立投資ができるカードは限定されている(×)
- 選べる商品は限られ、投信だと2~2,500本程度、株だと2~180銘柄程度と提携証券会社により異なる(×)